



山際つとむ 議会レポート

年頭にあたって

昨年11月に衆議院が突然解散し、12月の総選挙はアベノミクスが争点とされましたが、小選挙区の投票率は52.66%と過去最低を記録したうえに、国民の選択は引き続き自公政権となりました。アベノミクスへの期待感があるにせよ、大企業が少し潤ってきただけで現実を見れば地方への波及は遅れていることに加え、現政権は雇用が拡大したとはいえ非正規雇用が2,000万人を突破するなど格差は広がるばかりです。また、消費増税の先送りにより増え続ける社会保障費を抑制するため、介護報酬の大幅引き下げも議論されており、まさに「強きを助け弱きを挫く」政策が続いていく危険性があります。人口減少に加え生産年齢人口も8,000万人を割り込むなど、今後は地方が生き残りをかけて政策を打っていく必要があります。「支えあい、助け合い、住みよい新潟市へ！」を実現するため、今後も力を注いでまいります。

行政視察

8月18日から3日間の日程で岡山市と京都市において公共交通調査特別委員会の行政視察を行いました。岡山市では5年前に計画された都市交通戦略について話を伺いましたが、検証が進んでおらず、今後はJR吉備線のLRT化も検討するとのことで、本市と同じく課題が多いことが明らかになりました。京都市では自治会が運行する醍醐地区のコミュニティバスの運営について話を伺い、行政の支援を頼らない手法には驚くばかりでした。そのほか京都市の総合交通戦略について話を伺いましたが、それぞれの都市の状況も異なることから、これらを参考に新潟市らしい交通のあり方を考える必要があると感じました。

9月定例会

強度行動障がいを持つ者が適切な支援を受けられ、障がいを持つ人が幸福に生きていくことができるようにしていかなければならないことから、国に対し強度行動障がいに対する一貫した支援方法・体制を求め「強度行動障がいに対する支援のあり方に関する意見書の提出について」の議員提案を行い、9月定例会最終日の本会議において全会一致で可決されました。

これを契機に更なる支援体制の充実に向け取り組んでいきます。

決算特別委員会

決算特別委員会は、昨年度から議長と監査委員を除く議員で4分科会（4常任委員会所管に準ずる）となりましたが、初日の9月26日に委員長の指名推薦により第4分会副委員長を拝命しました。

なお、私からは使用済み小型家電回収においては障がい者の雇用拡大や回収物の売り払い収入増など本市にとって有益な事柄が多いことから回収拠点の拡大などについて意見・要望を述べ、10月21日の委員会で採決の結果、賛成多数をもって決算を認定すべきものと決定しました。

議会報告会

11月23日から30日の内の5日間で、今年度2回目の議会報告会を市内8区で開催しました。今回は形を変え、これまでは参加された方と意見交換を行っていましたが、これから本市を担っていく市内大学の学生、又は日頃から地域のまちづくりに直接携わっている区自治協議会委員の皆さまと、「新潟市のまちづくり」をテーマに、ワークショップ形式で意見交換を行うこととし、議論を傍聴できる形での開催でした。

意見交換は、今後のまちづくりにおける課題である、少子化対策や雇用など7項目の中から課題を選択して行い、その結果発表を行いました。

私は東区で県立大学の学生と雇用についてワークショップを行いました。若者らしい素直な声を聴くことが出来た良い機会でした。



学生による結果発表

12月定例会

12月定例会が12月2日から22日まで開催されました。

初日に平成25年度決算の認定をした他、最終日の一般会計補正など市長提出案件はすべて可決され、議員提案による「東日本大震災関連で避難されている方の支援を求める意見書の提出について」は全会一致で可決されました。その他、市民団体から請願のあった「新潟市長選挙で示された市民の意思に従って、BRT計画の白紙撤回を求めることについて」は反対多数によって不採択となりました。確かに市長選においては争点の一つであり、私自身も平成25年12月定例会において「公共交通としてのバス路線再編には賛同できるものの、連節バス導入は市民理解を得たものとは思われず時期尚早である。」との考えから購入議案に反対したものの、賛成多数で可決されたことから、まずは超高齢化社会における公共交通の確保に向けた現在の計画はすべて否定するものではないと考えます。但し、専用レーンなどを先送りした結果、連節バスが計画にマッチし、確実に機能するかについては、今後もしっかりと議会にて検証して行きます。



新潟市仕様の連節バス

常任委員会

12月定例会において、所属する環境建設常任委員会では議案11件が付託され、すべて原案可決すべきものとされましたが、一般会計補正予算に関し、国の補助金減額によって新潟駅周辺地区の整備縮小による遅延や除雪機械購入の見送りによる除雪体制の低下など市民生活に影響を及ぼさないようよう要望しました。

一般質問

12月定例会で一般質問に立ちました。主な質問項目と答弁は以下のとおりです。



<ひまわりクラブについて>

問 ひまわりクラブは国の子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、面積要件が新しくなるものの、現在でも狭隘化している施設が数多くみられる。更に来年度からは小学校4年生以上も受け入れることから、益々狭隘化が進むものと考えられるが、経過措置期間の5年内においては、すべて児童を受け入れるのか、それとも入会制限を掛け抑制を図るのか。また、指導員の賃金は政令市中最低のレベルであり、待遇改善を行う必要があると思うがどうか。

答 ひまわりクラブについてはこれまでどおり希望するすべての児童を受け入れることを基本としながらも、入会希望者が大幅に増加し、児童の安全確保が難しいと判断される場合は個々の施設ごとに指定管理者と協議のうえ入会の受け入れを判断していく。また、指導員の安定的な確保が必要であること認識していることから、待遇改善については勤務時間数や保育士など類似業種の状況も踏まえながら検討していく。



狭隘化が進むひまわりクラブ

<校庭芝生化について>

問 校庭芝生化モデル校として平成22年度の鏡淵小学校の実施から5年が経過したが、費用や芝生化によるメリット、デメリットなどどのように検証がなされてきたか何うとともに、その検証結果によって今後実施を検討する学校にとっても、その効果や課題、対応方法などについて簡易に理解できるような情報提供が必要であると思うが見解を伺う。

答 モデル校では子どもたちの屋外での運動意欲促進などの効果、管理労力面での課題、継続的な維持管理のために必要な経費及び芝生の生育に適切な管理方法などについて検証を行ってきた。来年度には今までの検証結果をまとめ今後の判断基準にしたい。今後は学校、地域などによる維持管理体制の充実が最も重要であることから、モデル校相互の連携や情報交換と併せて、専門的知識を有する立場からの助言も得られる体制を整備するとともに、教育委員会が中心となり情報の一元化と発信体制の整備を行う。

公共交通調査特別委員会

所属する公共交通調査特別委員会は、『本市が進める生活交通、都心アクセス、基幹公共交通軸を初めとする都市交通にかかわる調査研究』を付議事項として、12月定例会前までに随時委員会を開催し議論を重ねた結果、マイカー依存度の高い広域な政令市新潟において、鉄道に継ぐ公共交通であるバス交通の利用を促進するには、いかに魅力あるものにするか、いかに利便性を高めるかが重要であると考え、最終的に「バス利用促進への取り組みについて」をテーマとすることを決定しました。

今年の2月定例会において最終報告とする予定ですが、一口にバスといっても、民営バス、区バス、住民バスなど運営形態も異なり、なおかつ地域によってバス交通に望む環境も違うことから実効性のある報告ができるよう今後も議論を重ねてまいります。

予算要望

12月17日、所属する会派「民主にいがた」全員で、平成27年度予算編成にあたり、市民が健やかに暮らせる安心政令市新潟づくりを推進されるよう、10分野74項目をまとめた要望書を篠田市長に提出しました。



総合計画特別委員会

平成19年度から始まった新・新潟市総合計画は平成26年度で終了することから、次期総合計画に関する議論をさらに深めるため、平成26年3月に総合計画特別委員会を設置し、議会内での議論を進めてきました。12月定例会において「新潟市基本構想及び基本計画を定めることについて」として上程され可決されましたが、わが会派からは、総合計画の執行にあたっては、常に市民ニーズを意識し、計画、実行、評価、改善のPDCAサイクルを繰り返すことにより着実に履行されるよう要望しました。

あとがき

遅まきながらようやくホームページを開いたしました。アドレスは下部枠内にも記載しておりますとおりこちら↓になります。

URL : <http://tsutomu-yamagiwa.com/>

まだまだ内容的には薄いものではありませんが、市民の皆様の声を聴きながら充実させていきたいと考えています。

なお、お問い合わせのページも設けておりますので、市政に関してご不明な点、ご意見、ご感想などありましたら何なりとご一報ください。

発行／民主にいがた 山際 務 (この議会レポートの発行には政務活動費を使用しています。)

市議会会派控室／〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1

TEL 025-226-3476 FAX 025-211-4411

山際務事務所／〒950-0941 新潟市中央区女池6丁目2番12号207

TEL 025-285-2106 FAX 025-285-2026

E-mail: tsutomu-y@heart.ocn.ne.jp

URL : <http://tsutomu-yamagiwa.com/>

ブログ毎日更新中!



←携帯用QRコード